- (1) $t = \tan \frac{x}{2}$ とおくとき、次の等式が成り立つことを示せ.
- (i) $\sin x = \frac{2t}{1+t^2}$ (ii) $\cos x = \frac{1-t^2}{1+t^2}$ (iii) $\tan x = \frac{2t}{1-t^2}$ (2) a, b を実数とする. x を未知数とする方程式 $a\sin x + b\cos x + 1 = 0$ が, $-\pi < x < \pi$ の範囲に相異なる二つの解をもつとする. (i) a, b の満たすべき条件を求めよ. (ii) 二つの解を α, β とするとき, $\tan \frac{\alpha+\beta}{2}$ を a, b を用いて表せ. (3) $x \cos \frac{\pi + (x + b)^2}{2}$
- (3) 次の定積分を求めよ.

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{\sin x + \cos x + 1} \, dx$$

(13 大阪教育大 1)

- (1) 略
- (2) (i) $b \neq 1$ かつ $a^2 + b^2 > 1$
 - (ii) $b \neq 0$ のとき $\frac{a}{b}$, b = 0 のときはなし $\log 2$
- $(3) \log 2$

【チェック・チェック】

 $t = \tan \frac{x}{2}$ は三角関数を有理式に変える重要な変数変換です.

(1) は三角関数 \sin , \cos , \tan を t の有理式として具体的に表しています.

(2), (3) はこの応用で、(2) は三角方程式を 2 次方程式に置き換える、(3) は積分計算といった 問題構成になっています.

【解答】

(1) $t = \tan \frac{x}{2}$ とおく.

(i) 2 倍角の公式より

$$\sin x = \sin\left(2 \cdot \frac{x}{2}\right) = 2\sin\frac{x}{2}\cos\frac{x}{2} = 2\tan\frac{x}{2}\cos^2\frac{x}{2}$$

$$= \frac{2\tan\frac{x}{2}}{1 + \tan^2\frac{x}{2}} = \frac{2t}{1 + t^2} \qquad \cdots (証明終わり)$$
← $\cos^2\theta = \frac{1}{1 + \tan^2\theta}$

(ii) (i) と同様に

$$\cos x = \cos\left(2 \cdot \frac{x}{2}\right) = 2\cos^2\frac{x}{2} - 1$$

$$= \frac{2}{1 + \tan^2\frac{x}{2}} - 1 = \frac{1 - \tan^2\frac{x}{2}}{1 + \tan^2\frac{x}{2}} = \frac{1 - t^2}{1 + t^2}$$
..... (評明終史)

(iii) (i), (ii) の結果から

$$\tan x = \frac{\sin x}{\cos x} = \frac{2t}{1-t^2}$$
 …… (証明終わり)

(2) (i) (1) より

$$a\sin x + b\cos x + 1 = 0 \qquad \cdots (*)$$

$$\iff a\frac{2t}{1+t^2} + b\frac{1-t^2}{1+t^2} + 1 = 0$$

$$\iff (1-b)t^2 + 2at + 1 + b = 0 \qquad \cdots (**)$$

また, $-\pi < x < \pi$ より $-\frac{\pi}{2} < \frac{x}{2} < \frac{\pi}{2}$ であり, $t = \tan \frac{x}{2}$ は単調増加で、すべての実数値をとるから、(*) の解 x の個数 と (**) の解 t の個数は一致する.

(*) が相異なる二つの実数解をもつためには、まず(**)が2 次方程式であることが必要である. このときの2次方程式の判 別式を D とおくと

$$\frac{D}{4} = a^2 - (1-b)(1+b) = a^2 + b^2 - 1$$

よって、(*)が相異なる二つの実数解をもつ条件は

$$\begin{cases} b \neq 1 \\ D > 0 \end{cases} \qquad \therefore \qquad \begin{cases} b \neq 1 \\ a^2 + b^2 > 1 \end{cases} \qquad \dots \dots (答)$$

$$\longleftarrow \cos^2 \theta = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta}$$

- ← (*)の解と (**)の解 の対応関係
- ← (**) が 2 次方程式で ある条件は $1-b \neq 0$

(ii) 加法定理より

$$\tan\frac{\alpha+\beta}{2} = \frac{\tan\frac{\alpha}{2} + \tan\frac{\beta}{2}}{1 - \tan\frac{\alpha}{2}\tan\frac{\beta}{2}}$$

ここで、 $\tan \frac{\alpha}{2}$ 、 $\tan \frac{\beta}{2}$ は 2 次方程式 (**) の 2 つの解より

$$anrac{lpha}{2}+ anrac{eta}{2}=-rac{2a}{1-b},\quad anrac{lpha}{2} anrac{eta}{2}=rac{1+b}{1-b}$$
 であるから

 $an rac{lpha+eta}{2} = rac{-rac{2a}{1-b}}{1-rac{1+b}{1-b}} = rac{-2a}{(1-b)-(1+b)} = rac{a}{b}$ $\qquad \leftarrow rac{a}{b}$ が定義されるの は b
eq 0 のときで ある.

ここで b = 0 とすると, (**) は

$$t^2 + 2at + 1 = 0$$

$$\frac{D}{4} = a^2 - 1 > 0 \qquad \therefore \quad a < -1 \, \sharp \, \hbar \, \sharp \, 1 < a$$

このとき(*)は

$$a\sin x + 1 = 0$$
 $\therefore \sin x = -\frac{1}{a}$

 $-\pi < x < \pi$ の範囲でこの方程式を満たす x の値が 2 個存在す るが、この2つの解 α 、 β は $x = \pm \frac{\pi}{2}$ に対称であるから

$$\frac{\alpha + \beta}{2} = \pm \frac{\pi}{2}$$

このとき \tan は定義されないから、 $\tan\frac{\alpha+\beta}{2}$ の値は存在し $\longleftarrow\theta=\pm\frac{\pi}{2}$ のとき

(3)
$$I = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{1}{\sin x + \cos x + 1} dx$$
 とおく、 $\tan \frac{x}{2} = t$ とおくと $\longleftarrow \tan \frac{x}{2} = t$ とおいて、置換積分を実行する.

$$\therefore dx = 2\cos^2\frac{x}{2}dt = (1+\cos x)dt$$
$$= \left(1 + \frac{1-t^2}{1+t^2}\right)dt = \frac{2}{1+t^2}dt$$
$$\frac{x \mid 0 \quad \longrightarrow \quad \frac{\pi}{2}}{t \mid 0 \quad \longrightarrow \quad 1}$$

← 2 次方程式の解と係数の関係

よって
$$I = \int_0^1 \frac{1}{\frac{2t}{1+t^2} + \frac{1-t^2}{1+t^2} + 1} \cdot \frac{2}{1+t^2} dt$$

$$= \int_0^1 \frac{2}{2+2t} dt$$

$$= \left[\log|t+1| \right]_0^1$$

$$= \log 2$$
(答)